

議会運営委員会の行政視察

令和4年9月26・27日

山形県 天童市・庄内町・遊佐町



遊佐町少年議会が作成した冊子



天童市と意見交換

調査事項及び調査結果

所見

1 議員報酬の見直し及び政務活動費の支給について

- 議員報酬の見直しにあたっては、県内自治体との均衡と執行部管理職給与を参考にしている。政務活動費の支給については、有効に活用されているとの意見がある一方で、住民等や議員間でも賛否が分かれている。

〔天童市・庄内町・遊佐町〕

- 議員報酬については、全国町村議長会からシミュレーションなどが示されるなど増額を含めた議員報酬の適正化が課題とされている。
- 政務活動費は必要とされているが、課題も多く、町村議会での導入は全国的に進んでいない。
- 議員の成り手不足解消の手段として、議員報酬の見直しや政務活動費の支給について、今後も慎重に調査研究を重ねる。

2 議員の成り手不足解消対策について

- 平成30年6月の庄内町議会議員選挙において定員割れとなったことを受け、町議会議員の成り手不足を解消するため、定例会での独自の参考人招致など各種対策を実施している。特に女性をターゲットに取り組んでいる。

〔庄内町〕

- 本町では、議会議員選挙において定員割れは発生していないが、全国的に、特に小規模市町村で問題となっている。
- 近年の分権化の進展により、地方議会が有する権限とそれに伴う責任の範囲は拡大しており、地方議会が役割を十分に果たせなくなることが懸念されるため、町民が町議会に関心を持ってもらえるよう取り組む。

3 少年議会について

- 次世代を担う若者たちの町政参加を促すため、平成15年から町内在住・在学の中学生、高校生で構成される少年議会を開催しており、投票率の向上に繋がっている。

〔遊佐町〕

- 本町でも投票率の低迷や若い世代の政治離れが課題となっているため、少年議会等を参考に、主権者教育における議会の取り組みを進める。

